

一喜一憂

「喜」

「憂」

情況の変化に喜んだり、心配したりすること

藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

No. 3

冬の恵み

《①なべ》 久しぶりに雪景色になると庭の木に雪が積

出会った。朝起きてみると庭の木に雪が積

も積もる地方の人々に

80代の老人にはなつか

しい。

「雪見酒」とか「雪見障子」など、雪を楽しむための家の屋の趣向は、洋風建築が主流になつた今でも受け継がれているのだろうか。

そういうふうに

な気がしてくる。

年齢を重ねるにつ

れ、春を心待ちにする

思いが強くなる。寒さに敏感になつてゐるせ

いもあるが、春が待ち遠しい。それよりも何

よりも春という「花」を待ちわびてゐる。冬

の寒さの侘(わび)しさが次第に色とりどり

の花に彩られていく。

そのうつろいを目と鼻

で感じる日を心待ちに

している。



いちご



春が待ち遠しい

パンジー

若い頃にはもっとひんぱんに雪が降っていたような気がする。「雪見鍋」と言つて、体の芯までポカポカと温まる冬の定番の鍋料理。見た目にもおいしそうな一品となる。しよう油味や味噌ベースで好みの具材を煮込み、雪に見立てた大根おろしをふんだんに入れるだけ。その他のことは女房にまかせていい。大根に含まれるビタミンCや胃腸の働きを助けるジアス

ターは大根おろしにすることで効率よい♪春よ来い♪早く来

もついて、感慨深かつた。そういうえば、去年は雪を見なかつたような気がして來た。記憶

(きおく)が定かでなく、自信がない。

昔は、雪の白さに染まつた世界を愛(め)で、その風情を楽しむ

「雪見」があつたり、「雪見酒」とか、「雪見障子」などあつたなあと

思い出す。今の若者たちは、そのような言葉

を知らないだろうが、80代の老人にはなつかしい。

「雪見酒」とか「雪見障子」など、雪を楽しむための家の屋の趣向は、洋風建築が主流になつた今でも受け継がれているのだろうか。

そういうふうに

な気がしてくる。

年齢を重ねるにつ

れ、春を心待ちにする

思いが強くなる。寒さに敏感になつてゐるせ

いもあるが、春が待ち遠しい。それよりも何

よりも春という「花」を待ちわびてゐる。冬

の寒さの侘(わび)しさが次第に色とりどり

の花に彩られていく。

そのうつろいを目と鼻

で感じる日を心待ちに

している。

大根おろしをよく食べさせられた。

く摂取できると、冬は

大根おろしをよく食べさせられた。